

**「インフォテリア」と国内唯一のプライベート・ブロックチェーン技術を有する  
 フィンテック企業「テックビューロ」が事業提携**

**ASTERIA WARP とブロックチェーン技術の接続アダプタを開発し実証実験を開始！  
 決済処理システムの構築・運用コストが 1/10 以下、金融 IT 革命の実現へ**

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）と、テックビューロ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：朝山貴生、以下、テックビューロ）は事業提携し、両社のソフトウェアを組み合わせるための専用接続アダプタを開発し、その実証実験を2016年1月から行い、同年4月から発売することを発表します。

インフォテリアとビットコイン基盤技術を応用した国内唯一の「プライベート・ブロックチェーン」の開発技術を有するフィンテック\*1企業であるテックビューロが協業することで、金融システム構築・運用コストを1/10以下にすることを実現する開発プラットフォームを提供するなど、両社は共に金融IT革命の実現を目指します。

**【ASTERIA WARP を使った mijin ブロックチェーンの活用イメージ】**

**既存のシステム**



**■ 事業提携の概要**

日本国内では唯一プライベート・ブロックチェーン\*2実装技術を保有するテックビューロは、主として金融業界におけるシステム革命を目指して2014年6月に事業開始。現在はブロックチェーン製品「mijin」の開発を進めていますが、システム開発は順調に進みこのソフトウェアの発売開始に向けた準備が着々と進んでいる状況です。ブロックチェーン技術は、米国ではナスダックが未公開株式取引市場での導入を2015年10月に発表するなど、その他の国・地域でも積極的な検討が進められています。インフォテリアとテックビューロは、国内外の金融機関でのブロックチェーン技術の普及に向けて協業を開始し、具体的には以下の取り組みを展開していきます。

<具体的な協業内容（予定）>

内容		実施時期
1	ASTERIA WARP と mijin を組み合わせた実証実験を開始する。	2016年1月
2	国内金融機関でもブロックチェーン技術の採用・導入が推進されるように、セミナーを共同開催する。	2016年2月～
3	テックビューロが ASTERIA WARP における「mijin アダプタ」を開発し発売する。	2016年4月

■ 両社の今後の展開

「mijin」は、インフォテリアとの協業によりデータ接続のバリエーションを強化することや共同セミナー等を開催していくことで、1,000ダウンロード（2016年度中）を目標に掲げています。また、ASTERIA WARP においても今回の事業提携をきっかけに、受託開発によるシステム導入が多い傾向にある金融機関に対する当社パッケージソフトの提案力を強化し、ASTERIA シリーズとしての金融機関での導入件数を 2020 年度には倍増（2015 年度比）を目指します。

インフォテリアの ASTERIA ビジネスは順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は 5,000 社を突破するとともに、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 9 年連続シェア No.1<sup>\*3</sup>を継続し、業界のリーディングカンパニーとしての地位を更に強固なものにしています。今後も ASTERIA WARP の多様なデータソースとの連携機能を駆使することで、フィンテックのような新たなテクノロジーの導入効果や利便性を最大限に引き出せる IT ソリューションの構築に貢献してまいります。

■ 「テックビューロ株式会社」について（Web サイト <http://techbureau.jp/>）

テックビューロ株式会社は、暗号通貨技術とブロックチェーン技術に基づいたソフトウェアとサービスを開発しているクリプト・フィンテック・ラボ（Crypto-Fintech Lab.）です。ビットコインを含む暗号通貨の為替取引プラットフォーム「Zaif」やプライベート・ブロックチェーン基盤ソフトウェア「mijin」の他、ブロックチェーン技術導入の受託開発やコンサルティングサービスを提供しております。



■ 「mijin」について（Web サイト <http://mijin.io/>）

「mijin」は、クラウド上や自社データセンター内に、企業内や企業間で利用可能なプライベート・ブロックチェーン環境を構築できるプラットフォームです。既存のデータベースや勘定システムを置き換えて劇的にコストを削減すると同時に、改ざん不可能なセキュリティ環境が構築できる他、実質ゼロダウンタイムを実現します。金融機関から電子マネー、ポイント、オンラインゲーム、ロジスティクスまで、幅広くご利用頂けます。



■ 「インフォテリア株式会社」について（Web サイト <http://www.infoteria.com/>）

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 5,020 社（2015 年 5 月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、現在 900 件以上（2015 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。



■ 「ASTERIA WARP」について（Webサイト <http://www.infoteria.com/jp/asteria>）

「ASTERIA WARP」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できるミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。また、企業向けデータ連携製品（EAI/ESB製品）の国内市場において9年連続市場シェアNo.1を獲得しています。



※1：フィンテック（FinTech）とは金融（Finance）と技術（Technology）を掛け合わせた造語で、金融とITを融合させた金融システムの革新的活用を意味します。従来は、このフィンテックが担う分野は金融機関向けにサービスを提供する大手ITベンダーが関与するものでした。しかし、ここ数年は技術革新とともに比較的規模のベンチャー・スタートアップ企業の参入が多くなり注目を集めています。

※2：ビットコインによって発明された、P2P方式によるデータ処理の基盤技術です。複数のコンピューターが分散型合意形成を行い、暗号署名しながらブロック単位で複数データを処理するのが特徴です。安価なコンピューターで稼働し、ゼロダウンタイムと、改ざん不可能なセキュリティを実現します。バックアップや冗長化も必要なく、劇的なコスト削減が可能であり、キャパシティを超えても落ちないため、金融機関にも注目されています。

※3：テクノ・システム・リサーチ社

「2015年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」

<プレスリリース掲載URL>

[http://www.infoteria.com/jp/news/press/2015/12/04\\_01.php](http://www.infoteria.com/jp/news/press/2015/12/04_01.php)

---

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

インフォテリア株式会社 コミュニケーション部 広報担当：長沼史宏  
TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: [press@infoteria.com](mailto:press@infoteria.com)

テックビューロ株式会社 担当：芳村  
TEL:06-6533-2230 / E-mail: [pr@techbureau.jp](mailto:pr@techbureau.jp)

【製品に関するお問い合わせ先】

インフォテリア株式会社 プロダクトマーケティング部 製品担当：森一弥  
TEL: 03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: [pm@infoteria.com](mailto:pm@infoteria.com)

インフォテリア、ASTERIA、Handbookはインフォテリア株式会社の登録商標です。  
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。